

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



601

☑ should [シュッド] ※ should は shall の過去形 → 【単語帳 No. 595 … shall】参照。

助

① ～すべきである

② &lt;&lt;shall の過去形&gt;&gt;

① **should** は shall の過去形だが、おもに現在形の文で使い、「～すべきである」の意味になる。

② 時制の一致を受けるときには、shall が過去形になって、**should** になる。

<<短縮形>> **should** not = **shouldn't**

☆ **should** を使った文はふつう、had better ~ 「～したほうがよい」を使った文と書き換えができるが、日本語訳に反して、had better ~ のほうが **should** よりも強い言い方になる。

※ had better ~ → 【No. 488 … better】

**should** は must 「～しなければならない」と比べても、やわらかい表現である。

→ 【単語帳 No. 588 … must】

You **should** go there soon.

『あなたはすぐにそこへ行くべきだ。』

= You had better go there soon.

『あなたはすぐにそこへ行ったほうがよい。』

※ had better は **should** よりも強い表現。

Which train **should** I take to go to Osaka?

『大阪に行くには私はどの電車に乗るべきですか?』

We **shouldn't** stay here long.

『私たちはここに長く滞在すべきではない。』

☆ 時制の一致を受けるときは、shall が過去形になる。

I thought (that) I **should** [would] leave soon.

『私はすぐに出発しようと思いました。』

※ 主節の動詞が過去形(thought)なので、that の後ろの文の時制も過去形になる。

→ くわしくは、ダントツ英文法【接続詞の that…時制の一致】

602

☑ if [イフ]

接

もし～ならば

※ <<時・条件>>を表す副詞節の文では、未来のことも現在形で表す。

例えば、「明日雨が降ったら」という文では、未来(明日)のことも現在形を使ってあらわす。

くわしくは、プリント教材の

【時・条件をあらわす副詞節】参照。

**If** you are busy now, I will help you. … ①

= I will help you **if** you are busy now. … ②

『もしあなたが今忙しいなら、私があなたを手伝います。』

**If** it rains tomorrow, we can't play tennis. … ①

= We can't play tennis **if** it rains tomorrow. … ②

『もし明日雨がふったら、私たちはテニスをする事ができません。』

☆ ①… 接続詞を文頭に使った文 / ②… 接続詞を文中に使った文

※ **if** には「～かどうか」の意味もある。

→ 【No. 729 … care】【No. 1132 … might】の例文も参照のこと。

※ **if**, because, when, after, before などの接続詞がある文では、接続詞を文頭に使った文(上記の①の文)と、接続詞を文中に使った文(上記の②の文)の2通りの英文を作ることができる。

… 接続詞が文頭にある文では、文中に , (コンマ)が必要になる。コンマによって、その接続詞の影響の範囲がわかる。

603

☑ bring [ブリング]

動

～を持ってくる、連れてくる

(⇔ take 「～を持っていく、連れていく」)

→ 【単語帳 No. 140 … take】

活用 : brought [ブroot]

– brought – bringing

3単現形 : brings [ブリングス]

**bring** up 『(子供を)育てる、しつける』

**bring** back ~ 『～を持って[連れて]帰る、(持ち主など)に返す』

**bring** [人] [物] 『[人] に [物] を持ってくる』

= **bring** [物] to [人]

※ プリント教材の【第3文型と第4文型】参照。

**Bring** me the book. 『私にその本を持ってきて。』

= **Bring** the book to me.

What **brings** you here?

(→ 『何があなたをここに連れてきたのですか?』)

→ 『どうしてここに来たのですか?』

Ken was **brought** up in Tokyo. 『ケンは東京で育った。』

※ 受け身[受動態]の文… 「育てられた」→ 「育った」と訳している

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



604  
☑ off [オ(ー)ふ] (⇔ on)

副 離れて、はずれて、とれて  
(電気・ガスなどが)切れて、(仕事を)休んで

前 〜から離れて

at 30 percent [パセント] off 『30%引きで』  
take off ~ 『〜を脱ぐ (⇔ put on ~)、  
(飛行機が)離陸する (⇔ land)』  
→ 【単語帳 No. 952… land】

turn off ~ 『〜のスイッチを消す』  
(⇔ turn on ~)

get off ~ 『〜を降りる』 (⇔ get on ~)

☆ off には形容詞の用法もある。  
the off season 『シーズンオフ』

This plane is going to take off in five minutes.  
『この飛行機は5分後に離陸します。』

She took off her coat. 『彼女はコートを脱ぎました。』

Turn off the TV [light]. 『テレビ[明かり]を消しなさい。』

I'm off today. 『私は今日は仕事が休みです。』

Get off the train. 『その電車を降りなさい。』

Keep off the grass. 『芝生(しばふ)に入るな。』【掲示】  
※ grass [グラッス] 「芝生(しばふ)、草」

☆ 上記の2つの文の off はどちらも副詞とする考え方もある。

My father was off work yesterday.  
『私の父は昨日仕事を休んだ。』

605  
☑ between [ビトゥウィーン] アクセント注意

前 (2つ・2人)の間に[で、の]

between ~ and … 『〜と…の間に』

between … 2つ・2人の間に  
あることを表す。

among … 3つ・3人以上の間に  
あることを表す。  
→ 【単語帳 No. 609】

This train runs between Tokyo and Osaka.  
『この電車は東京と大阪の間を走ります。』

Come here between three and four (o'clock).  
『3時から4時の間にここに来なさい。』

Who is that man standing between Emi and Ken?  
『エミをケンの間に立っているあの男性はだれですか?』

This is between you and me. 『これはここだけの話ですよ。』  
※ 内緒話をするときや、秘密を打ち明けるときに使う表現。

606  
☑ could [クッド] ※ could は can の過去形 → 【単語帳 No. 581… can】参照。

助 ① <<can の過去形>> 〜できた  
② 【ていねいな依頼の文に使う語】

<<短縮形>> could not = couldn't

Could you ~ ?  
『〜していただけますか?』

※ Can you ~ ? 「〜してくれますか?」  
よりもていねいな表現になる。

☆ Would you ~ ? と Will you ~ ? の  
関係と同様。→ 【No. 612… would】

They couldn't meet Emi at the station. … (★)  
『彼らは駅でエミに会うことができませんでした。』  
※ この文では couldn't = weren't able to ~ (下記の説明を参照)

I knew (that) Tom could swim well.  
『私はトムが上手に泳げることを知っていました。』  
※ 主節の動詞が過去形(knew)なので、that の後ろの  
文の時制も過去形になる。<<時制の一致>>

Could you (please) open the window?  
『その窓を開けていただけますか?』  
※ please を使うこともある。

<<書き換え>> can = be able to → could = was [were] able to ※ be 動詞は主語に応じて使い分ける。

上記(★)の書き換え … They weren't able to [← couldn't] meet Emi at the station.

☆ could には「(しよと思えば) 〜できた(のだが…)」という意味を含む用法がある。そのため、単純に「〜できた」  
という意味では、could よりも was [were] able to ~ を使うほうがふつう。(以下の例文を参照のこと)

I was able to answer the question. 『私はその質問に答えることができました。』

I could run faster. 『私は(走ろうと思えば)もっと速く走ることができました。』

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



607  
☑ lend [レンド]

動 ～を貸す

(⇔ borrow [No. 647])

活用 : lend [レント]

– lent – lending

3単現形 : lends [レンツ]

lend [人] [物] = lend [物] to [人] 『[人] に [物] を貸す』  
※ くわしくは、プリント教材の【第3文型と第4文型】参照。

Will you **lend** me this book? 『この本を私に貸していただけますか?』  
= Will you **lend** this book to me?

I **lent** Tom some pens. 『私はトムにペンを何本か貸しました。』  
= I **lent** some pens to Tom.

※ 上記はどちらも、上の英文が第4文型の文、下の英文が第3文型の文。

608  
☑ than [ざあん]

接 ～よりも、～に比べて  
【比較級(…) + than ~ の形で使う】

more … **than** ~ 『～よりも…』  
more **than** ~ 『～以上の』  
→ 【No. 448 … more】

比較級(…) + **than**  
any other + 単数名詞(～)  
『他のどの～よりも…』

※ 比較級の文だが、内容的には  
最上級のような意味になる。

He is younger [more famous] **than** I [me].

『彼は私よりも若い[有名]です。』

※ I の後ろには am が省略されている。

※ 口語では **than** I (am) のかわりに **than** me を使うことがある。

I like summer better **than** winter. 『私は冬より夏が好きです。』

Mt. Fuji is higher **than** any other mountain in Japan.

『富士山は日本で他のどの山よりも高い。』

※ 内容的に最上級の文と同意なので、最上級の文と書き換えができる。  
→ 【No. 109 … any】、【No. 594 … other】

= Mt. Fuji is the highest (mountain) in Japan.

『富士山は日本で1番高い(山)です。』

609  
☑ among [アマング]

発音注意

前 (3つ・3人以上)の間に[で、の]

**among** … 3つ・3人以上の間に  
あることを表す。

between … 2つ・2人の間に  
あることを表す。  
→ 【単語帳 No. 605】

I saw a big bird **among** the trees.

『私は木々の間にとっても大きい鳥を見ました。』

Ms. Aida is standing **among** the students.

『相田先生はその生徒たちの間に(囲まれて)立っています。』

Soccer is very popular **among** young people.

『サッカーは若者の間でとても人気があります。』

→ 【No. 434 … popular】

610  
☑ put [プット]

動 ～を置く、のせる、入れる

活用 : put [プット]

– put – putting

3単現形 : puts [プツ]

活用  
注意

~ing  
注意

**put** on ~ 『～を身に着ける』  
→ 右の説明を参照のこと。

**put** off ~ 『～を延期する』

**put** out ~ 『(火・明かりなど)を消す』

**put** ~ into … 『～を…に入れる、  
～を…に訳す[翻訳する]』

Meg **put** the book on the table.

『メグはその本をそのテーブルの上に置きました。』

※ 3単現の s がないので、この **put** は過去形。

**put** on ~ 『～を身に着ける、着る、  
(帽子など)をかぶる、(靴)をはく』  
⇔ take off ~ 『～を脱ぐ』 → 【単語帳 No. 140 … take】

☆ wear は「身に着けている」状態を表す。→ 【単語帳 No. 576】

**Put** on this jacket. 『この上着を着なさい。』

= **Put** this jacket on.

(… **put** と on の間に名詞をおくこともできる)

※ 目的語が代名詞のときは **put** と on の間に代名詞をおく。

He **put** it on. 『彼はそれを身に着けました。』

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



- 611  
 ㊦ **because** [ビコーズ] **Because** it was sunny yesterday, we went shopping. … ①  
 ㊦ (なぜなら)～だから、～なので = We went shopping **because** it was sunny yesterday. … ②  
 <<because of … で>> …のために 『昨日は天気良かったので、私たちは買い物に行きました。』  
 ※ ①… 接続詞を文頭に使った文 / ②… 接続詞を文中に使った文  
 ※ **because** の文は so 接続詞 を → = It was sunny yesterday, so we went shopping.  
 使った文と書き換えが可能。 『昨日は天気良かった。だから私たちは買い物に行きました。』  
**because** のうしろには<<理由>>が、  
 so のうしろには<<結果>>がくる。  
 →【単語帳 No. 127 … so】参照。

Why did you go to the hospital?

『あなたはなぜ(その)病院へ行ったのですか?』

→ **Because** I had a cold. 『風邪をひいたからです。』

**Because** of the heavy snow, the party was canceled.

『大雪のために、そのパーティーは中止されました。』

※ cancel [キァンスル]「キャンセルする、中止する、取り消す」

<<時・条件>>を表す副詞節の文では  
 未来のことも現在形で表す。

くわしくは、プリント教材の  
 【時・条件をあらわす副詞節】参照。

※ **because**, if, when, after, before などの接続詞がある文では、接続詞を文頭に使った文(上記の①の文)と、  
 接続詞を文中に使った文(上記の②の文)の2通りの英文を作ることができる。  
 … 接続詞が文頭にある文では、文中に , (コンマ)が必要になる。コンマによって、その接続詞の影響の範囲がわかる。

<<発展>> and, but, or, so のような、語・句・節(…主語と動詞を含むひとかたまりの部分)を対等の関係で  
 結びつけるものを等位接続詞という。それに対し、**because**, if, when, that などの接続詞を  
 従属接続詞という。※ 従属接続詞については、ダントツ英文法【接続詞…lesson60,61】参照のこと。

- 612  
 ㊦ **would** [ウッド] ※ **would** は **will** の過去形 →【単語帳 No. 586 … **will**】参照。

㊦ ① <<will の過去形>> … 慣用句・熟語を作る語にもなる。

②【ていねいな依頼の文に使う語】

<<短縮形>> **would** not = **wouldn't**

I **would** = I'd [アイド]

I thought (that) Meg **would** come here.

『私はメグがここに来るだろうと思いました。』

※ 主節の動詞が過去形(thought)なので、that の  
 後ろの文の時制も過去形になる。<<時制の一致>>

I **would** [I'd] **like** [love] to meet Tom.

『私はトムに会いたいです。』

※ 主語が I のときは短縮形 I'd を使うことが多い。

※ **would** love to ~ は女性がよく使う表現。

**would** like [人] to ~ 『[人] に～してもらいたい』

I **would** like you to come here.

『私はあなたにここに来てもらいたい。』

**Would** you like something to drink?

『あなたは何か飲み物が欲しいですか?』

※ something to drink … 不定詞の形容詞用法

→【単語帳 No. 621 … something】

**Would** you like to come with me?

『あなたは私といっしょに来たいですか?』

※ to の後ろには動詞の原形を使う。

**Would** you (please) help me?

『私を助けてくださいませんか?』

**would** like [love] to ~ 『～したい』

※ want to ~ よりていねいな表現。

→【単語帳 No. 162 … want】

**Would** you like ~ ? = How about ~ ?

『～はいかがですか?』

**Would** you like to ~ ?

『～するのはいかがですか?』

**Would** you (please) ~ ?

『～していただけますか?』

※ Will you ~ ? よりていねいな表現。

please といっしょに使うことが多い。

☆ Could you ~ ? と Can you ~ ? の関係  
 と同様。→【単語帳 No. 606 … could】

※ **would** には「よく～したものだ」という  
 意味の【過去の習慣】を表す用法もある。

We **would** often go skiing.

『私たちはよくスキーに行ったものだ。』



## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



613

☑ lose [ルーズ]

動 ～を失う、なくす、見失う、負ける

(⇔ find「見つける」、win「勝つ」)

→【単語帳 No. 220 … find】

→【単語帳 No. 672 … win】

活用 : lost [ロースト]

– lost – losing

3単現形 : loses [ルーズイズ]

派生語 : loser [ルーザァ]「敗者」(⇔ winner)

発音  
注意

lose one's way 『道に迷う』

※ one's の部分には、my, your, his などの所有格が入る。

I **lost** my pen. 『私は(私の)ペンをなくしました。』… ①

I have **lost** my pen. 『私は(私の)ペンをなくしてしまった。』… ②

※ ①の英文は、過去の出来事だけを表しているので、なくしたペンが今までに見つかったのかどうかはわからない。

②の英文は、現在完了形<継続>の用法で、ペンをなくした状態は今も続けていて、ペンはまだ見つかっていない。

Many people **lost** their lives in the war.

『たくさんの人々がその戦争で命を落としました。』

※ lives は life(命、生命)の複数形 →【単語帳 No. 339 … life】

Ken **lost** his way yesterday. 『ケンは何昨日道に迷いました。』

Our team may **lose** the game.

『私たちのチームはその試合に負けるかもしれない。』

614

☑ as [アズ]

前 ～として

接 ～のように

《as ~ as … で》～と同じくらい

※ 厳密には前者の as は 副詞

代 《the same ~ as … で》…と同じ～

《such ~ as … で》…のような～

as ~ as … 『…と同じくらい～』

※ ~の部分には、形容詞または副詞の原級(もともとの形)を使う。

not **as** [so] ~ **as** … 『…ほど～ではない』

※ 否定文では前者の **as** のかわりに so を使うこともある。

\_\_ times **as** ~ **as** … 『…の\_\_倍の～』

※ 2倍は twice, 半分は half, 3倍以降は three times, four times … となる。

→【No. 620 … twice】【No. 751 … half】

**as** ~ **as** one can 『できるだけ～』

= **as** ~ **as** possible

the same (~) **as** … 『…と同じ(～)』

→【No. 713 … same】

such ~ **as** … 『…のような～』

→【No. 696 … such】

She is famous **as** an artist. 『彼女は芸術家として有名です。』

※ artist「芸術家、画家」→【No. 278】

He gave me a dictionary **as** a birthday present.

『彼は誕生日プレゼントとして私に辞書をくれました。』

Do **as** you like [I say].

『あなたが好きなように[私が言うように]しなさい。』

Meg is **as** tall [old] **as** Emi.

『メグはエミと同じくらい背が高い[同い年です]。』

I can't run **as** fast **as** Tom. 『私はトムほど速く走れません。』

Australia is about twenty times **as** large **as** Japan.

『オーストラリアは日本の約20倍の大きさ[広さ]です。』

Run **as** fast **as** you can. 『できるだけ速く走りなさい。』

= Run **as** fast **as** possible.

→【単語帳 No. 581 … can】、【No. 858 … possible】

I go to the same school **as** Meg.

『私はメグと同じ学校に通っています。』

This pen is the same **as** Ken's (= Ken's pen).

『このペンはケンの(ペン)と同じです。』

I've never heard such stories **as** Aki tells.

『私はアキが言うような話は一度も聞いたことがありません。』

615

☑ happen [ハアプン]

動 (偶然に) 起こる、生じる

活用 : happened [ハアブンド]

– happened – happening

3単現形 : happens [ハアプンス]

happen to ~ 『偶然[たまたま]～する』

What **happened**? 『何が起こりましたか[ありましたか]?』

I didn't know what **happened** to her.

『私は彼女に何が起こったのかわかりませんでした。』

What's **happening**? 『何事ですか[どうしたの]?』

I **happened** to see Tom. 『私は偶然トムに会った。』

☆ **happening** には「出来事、事件、ハプニング」の意味の 名詞 もある。

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



616  
 ㊦ future [ふ्यूチャ]

名 未来、将来 (⇔ past「過去」、present「現在」)  
 形 未来の、将来の

in the **future** 『将来は、未来に、これからは』  
 (⇔ in the past【No. 728】、at present【No. 754】)  
 a **future** doctor 『将来の医者、医者のお』  
 Tom's **future** wife 『トムの未来の奥さん』

I want to be an artist in the **future**.  
 『私は将来 芸術家[画家]になりたい。』

Emi is saving money for the **future**.  
 『エミは将来のためにお金を貯めています。』

Meg is Tom's **future** wife.  
 『メグはトムの未来の奥さんです。』

過去 現在 未来  
 past present **future**

617  
 ㊦ moment [モウメント] 発音注意

名 瞬間、ちょっとの間  
 (= minute, second にも同意表現がある)

in a **moment** 『すぐに』  
 at the **moment** 『今のところ』

Just a **moment** [minute/second]. 『ちょっと待って。』  
 = Wait a **moment** [minute/second].

※ 最近は **moment** よりも minute を使う表現のほうが好まれる。  
 → 【No. 329 … minute】【No. 336 … second】

618  
 ㊦ throw [すろう] 発音注意

動 (～を) 投げる  
 名 投げること

活用 : threw [するー]

– thrown [すろうん] – throwing

※ 過去形は through (～を通過) の同音語 → 【No. 634】

3単現形 : throws [すろうず]

**throw** away 『(物を) 投げ捨てる』

I **threw** a ball to him. 『私は彼にボールを投げた。』

I **threw** a ball at him. 『私は彼にボールを投げつけた。』

※ to は相手が受け取れるように、at はめがけての意味。

She **threw** away the empty can.

『彼女は空き缶を投げ捨てた。』

※ empty [エンプティ]「からの」【No. 986】(⇔ full)  
 can [キアン]「缶、缶詰、～できる」→ 【No. 581】

☆ **名詞** の用法の例文は省略します。

619  
 ㊦ become [ビカム] アクセント注意

動 ～になる (= be)

活用 : became [ビケイム]

– become – becoming

3単現形 : becomes [ビカムズ]

Ben **became** a doctor. 『ベンは医者になりました。』

I want to **become** [be] a teacher. 『私は先生になりたい。』

※ 将来「～になりたい」というときには be を使うことが多い。  
 → 【単語帳 No. 180 … be】

Meg **became** sick [famous]. 『メグは病気に[有名に]になりました。』

**become** [get] sick 『病気になる』 ※ **become** は get よりも硬い表現。→ 【単語帳 No. 147 … get】

620  
 ㊦ twice [トゥワイス] 発音注意

副 二度、2回、2倍

**twice** a week [month / year]  
 『週[月/年]に2回』  
**twice** as ~ as … 『…の2倍の～』

※ once「一度、1回」→ 【単語帳 No. 497】

half「半分」→ 【単語帳 No. 751】

三度 [3回 / 3倍] 以上は three times,  
 four times, five times, … とあらわす。

Emi goes shopping **twice** a week.

『エミは週に2回買い物に行きます。』

Yesterday I met Ken **twice**.

『私は昨日ケンに2度会いました。』

Meg has been to Kobe **twice**.

『メグは2回神戸に行ったことがあります。』

※ have [has] been to ~「～へ行ったことがある」

This train is **twice** as long as that one (= train).

『この電車はあれ[あの電車]の2倍の長さです。』

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



621

☒ something [サムシング]

アクセント注意

代 【ふつう肯定文で】何かあるもの[こと]

比較 疑問文・否定文では anything を使う。  
→【単語帳 No. 628】

something (cold) to drink

(→『飲むための(冷たい)何か』)

→『何か(冷たい)飲み物』と訳す。

※ 不定詞の形容詞用法

something good 『何か良いもの[こと]』

※ 形容詞は something のうしろに使う。

☆ 相手に肯定の返事を期待するときには  
疑問文でも something を使う。

There is something in this box.

『この箱の中に何か入っています。』

I want something (cold) to drink.

『私は何か(冷たい)飲み物が欲しい。』

= I want to drink something (cold).

『私は何か(冷たいものを)飲みたい。』

※ 上の文とほぼ同意。

I have something to tell you. ※ 不定詞の形容詞用法

『私はあなたに話すことがあります。』

There is something wrong with this computer.

『このコンピューターはどこか調子が悪い[故障している]。』

→【単語帳 No. 711 … wrong】

Do you want something (hot) to eat?

『あなたは何か(温かい)食べ物がほしいですか?』

622

☒ ride [ライド] 発音注意

動 (自転車・馬などに) 乗る

名 乗ること

活用 : rode [ロード] ※ road(道)と同音語

– ridden [リドゥン] – riding

3単現形 : rides [ライツ]

ride (on) a bike 『自転車に乗る』

※ ride on ~ という表現もある。(下記の説明を参照)

ride (in) a car [taxi] 『車[タクシー]に乗る』

※ ride in ~ という表現もある。(下記の説明を参照)

ride (on) a bus [train/plane]

『バス[電車/飛行機]に乗る』

※ 大型の乗り物に乗るときは on を使うのがふつう。

☆ ride の後ろに in や on を使ったときは、  
乗せてもらっているという感じになる。

Let's ride on a bus. 『バスに乗りましょう。』

Ken rides a horse well. 『ケンは上手に馬に乗ります。』

→【単語帳 No. 971 … horse】

Emi rode her bike to the station.

『エミはその駅まで(彼女の)自転車に乗りました。』

Can you give me a ride (to the station)?

『(駅まで)私を乗せていてもらえますか?』

It's a fifteen-minute train ride to Tokyo.

『東京までは電車で15分です。』

※ fifteen-minute で単語1語。複数形の s が不要。

ride … 自転車・オートバイ・馬などに(またいで)  
乗るときに使う。

乗客としてバスなどに乗るときにも使う。

drive … 車・タクシー・馬車など、座席に腰をかけて  
運転するときに使う。→【単語帳 No. 228】

623

☒ afternoon [アフタヌーン] アクセント注意

名 午後【正午から日没・夕暮れごろまで】

Good afternoon. 『こんにちは。』

※ 午後に使うあいさつ。

Hi. / Hello. は1日中使える『こんにちは。』

in the afternoon 『午後に』

on the afternoon of May 5

『5月5日の午後に』

on Sunday afternoon 『日曜日の午後に』

※ 特定の日には前置詞 on を使う。

this afternoon 『今日の午後(に)』

We have two classes in the afternoon.

『私たちは午後に授業が2つあります。』

I met Emi at three (o'clock) in the afternoon.

『私は午後3時にエミに会いました。』

Tom will go to the library on Sunday afternoon.

『トムは日曜日の午後にその図書館へ行く予定です。』

☆ 「ある特定の日の午後」には、前置詞 on を使う。

It was very cold yesterday afternoon.

『昨日の午後はとても寒かった。』

※ this, tomorrow, yesterday などが afternoon に  
つくときには、前置詞(in, on など)は必要ない。

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



624

☑ someone [サムワン] アクセント注意

(= somebody [サムバディ])

代 【ふつう肯定文で】だれか ※ 3人称単数扱い

someone と somebody はほぼ同じ意味・用法だが、  
口語では somebody のほうをよく使う。

someone, somebody … ふつう肯定文で使う。  
anyone, anybody … ふつう疑問文・否定文で使う。

Someone [Somebody] knocked the door.

『誰かがドアをノックしました。』

Someone [Somebody] is calling me.

『だれかが私を呼んでいます。』

There is someone [somebody] in the room.

『部屋の中にだれかいます。』

“Help me !” someone [somebody] shouted.

『「助けて！」とだれかが叫びました。』

Is anyone [anybody] (at) home ?

『だれか家にいますか？』

Does anyone [anybody] speak English ?

『だれか英語を話しますか？』

I don't know anyone [anybody] here.

『私はここに知っている人がいません。』

= I know nobody here.

※ この書き換えについて → 【単語帳 No. 755 … nobody】

Anyone [Anybody] can get it.

『だれでもそれを手に入れることができます。』

625

☑ anyone [エニワン] アクセント注意

(= anybody [エニバディ])

代 【疑問文で】だれか、【否定文で】だれも(～ない)  
【肯定文で】だれでも

※ 3人称単数扱い

anyone と anybody は、ほぼ同じ意味・用法だが、  
口語では anybody のほうをよく使う。

Is anyone [anybody] (at) home ?

『だれか家にいますか？』

Does anyone [anybody] speak English ?

『だれか英語を話しますか？』

I don't know anyone [anybody] here.

『私はここに知っている人がいません。』

= I know nobody here.

※ この書き換えについて → 【単語帳 No. 755 … nobody】

Anyone [Anybody] can get it.

『だれでもそれを手に入れることができます。』

626

☑ keep [キープ]

動 ～を持ち続ける  
ずっと～にしておく  
～をとっておく  
(家畜など)を飼う

活用 : kept [ケプト]

- kept - keeping

3単現形 : keeps [キープス]

keep (on) ~ing 『～し続ける』  
keep off ~ 『～に近づかない』  
keep a diary 『日記をつける』  
keep one's word [promise]  
『約束を守る』

You can keep this book. 『(あなたは)この本を持ってもいいです。』

Keep the change. 『お釣りはとっておいて。』 ※ 「お釣りはあげる」の意味。

She kept (on) studying all day. 『彼女は一日中勉強し続けました。』

He keeps [has] two pigs. 『彼は豚を2頭飼っています。』

※ pig(s) [ピッグ(ズ)] 「豚(ぶた)」

keep + 目的語(～) + 形容詞(…) 『～を…にしておく』

You should keep your room clean.

『あなたは(あなたの)部屋をきれいにしておくべきです。』

Keep the door open. 『そのドアを開けておきなさい。』

keep + 目的語(…) + ~ing 『…をずっと～させておく』

I'm sorry to keep you waiting. 『あなたを待たせてすみません。』

627

☑ soon [スーン] 発音注意

副 すぐに、まもなく

[比較変化] soon - sooner - soonest

as soon as possible [one can]  
『できるだけ早く』  
→ 【単語帳 No. 858 … possible】

as soon as ~ 『～するとすぐに』  
※ ～の部分には 主語 + 動詞が続く。

See you soon. 『すぐに会いましょう[またね]。』

I'll be [come] back soon. 『私はすぐに戻ってきます。』

Ken will get well soon. 『ケンはすぐに良くなるでしょう。』

※ get well 「(病気・具合などが)良くなる」

Call me as soon as possible [you can].

『できるだけ早く私に電話して。』

As soon as Emi had [ate] lunch, she went shopping.

『エミは昼食を食べるとすぐに、買い物に行きました。』



## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



628

anything [エニシング] アクセント注意 ※ something → 【単語帳 No. 621】も参照のこと。

代 【疑問文で】何か 【否定文で】何も(〜ない)  
【肯定文で】何でも

anything interesting 『何かおもしろいこと』  
※ 形容詞は **anything** のうしろに使う。

not (〜) **anything** = nothing

I don't have **anything** in my hand.

= I have nothing in my hand.

『私は手に何も持っていない。』

→ 【単語帳 No. 592 … nothing】

Is there **anything** interesting in today's paper?  
『今日の新聞に何かおもしろいことはありますか?』

Do you want **anything** else? → 【No. 948 … else】  
『あなたはほかに何か欲しいですか?』

There wasn't **anything** on the table.  
= There was nothing on the table.  
『テーブルの上には何もありませんでした。』

Buy **anything** (that) you like. ※ that は関係代名詞  
『あなたが好きなものを何でも買いなさい。』

629

until (= till) [アンティル(ティル)]

接 前 〜まで(ずっと)

アクセント注意

前 〜まで(ずっと)

※ アメリカ英語では till よりも until を使うことが多い。

from morning **until** [till] night 『朝から夜まで』

**until**, **till** … 「〜まで(ずっと)」  
※ 動作・状態が続く期間をあらわす。

by … 「〜までに」 ※ 期限を表す。→ 【単語帳 No. 52】

Wait here **until** [till] he comes back.  
= **Until** [till] he comes back, wait here.  
『彼が戻って来るまでここで待ちなさい。』

※ <時・条件>を表す副詞節の文では、未来のことも現在形で表す。→ プリント教材【時・条件をあらわす副詞節】参照。

Let's stay here **until** [till] five (o'clock).  
『5時まで(ずっと)ここにいきましょう。』

It's ten minutes **until** [till] noon.  
『正午まであと10分です。 / あと10分で正午です。』

630

either [イーザ/アイザ]

形 どちらかの

<否定文で> どちらも(…ない)

接 <either ~ or …> 〜か…のどちらか

代 どちらか (⇔ neither) ※ 原則的には単数扱い  
<否定文で> どちらも(…ない)

副 <否定文のあとで> 〜もまた(…ない)  
(⇔ neither)

※ **either** は否定文で「どちらも(…ない)」の意味になり、neither を使った文と書き換えができる。

①の文(形容詞)の書き換え

I don't like **either** book.

= I like neither book. ※ 後ろには単数形。

②の文(代名詞)の書き換え

She doesn't know **either** of my brothers.

= She knows neither of my brothers.

③の文(副詞)の書き換え

I can't, **either**. = Neither can I.

☆ neither 【単語帳 No. 1028】も参照のこと。

You can use **either** dictionary. ※ 後ろの名詞は単数形。  
『あなたはどちらかの辞書を使ってもいいです。』

I don't like **either** book. … ① ※ 後ろの名詞は単数形。  
『私はどちらの本も好きではない。』

Tom will leave here **either** today or tomorrow.  
『トムは今日か明日にここを出発するでしょう。』

**Either** you or I am right.  
『あなたか私のどちらかが正しい。』  
※ 動詞は or の後ろの主語に合わせる。

**Either** of them must go there.  
『彼らのどちらかがそこへ行かなければなりません。』

She doesn't know **either** of my brothers. … ②  
『彼女は私の兄弟のどちらも知りません。』

**Either** will be all right. 『どちらでもけっこうです。』

A: I can't swim. 『私は泳げません。』

B: I can't, **either**. 『私もです。』 … ③

※ 肯定文での『〜も(また)』には too や also を使う。

※ よく出題されるのは接続詞と副詞の用法です。  
まずその2つの用法を優先して覚えましょう。

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



631

☒ another [アナザ]

形  
代

もう 1 つの、別の

アクセント注意

もう 1 つ[1人]、別のもの[人]

another cup of tea

『もう 1 杯の紅茶』

one another 『おたがいに』

= each other

※ each other は 2 者(2 人・2 つ)に、  
one another は 3 者以上に使う  
ことが以前は多かったが、最近  
では、3 者以上を表す場合にも  
each other を使うことがある。

one after another

『次々に、次から次へと』

→【単語帳 No. 47…after】

Will you have another cup of tea?

『紅茶をもう 1 杯いかがですか?』

Show me another hat. 『私に別の帽子を見せて。』【お店】

another … いくつかある中の《もう 1 つ》を指す。

※ another は an + other からできた語なので、直前に a, the,  
this, that, some, any などの語はつけない。

the other … 2 つあるうちの《残りの 1 つ》→【単語帳 No. 594】

I don't like this bag. Please show me another.

『私はこのバッグは好きではありません。別のを見せてください。』

We must help one another [each other].

『私たちはおたがいに助け合わなければならない。』

Many people came to this park one after another.

『たくさんの人々が次々とこの公園にやってきました。』

632

☒ since [シンズ]

接

～して以来 ※ ふつう現在完了形の文で使う。

～なので ※ ふつう文頭に使う。

because よりは意味が弱い。

前

～以来、～から

since 1999 『1999 年から』

since then 『それ以来』

since … 過去に始まったあることが、今も続いて  
いることをあらわすので、ふつうは現在  
完了形の文で使う。

from … 始まった開始点をあらわし、さまざまな  
時制とともに用いる。→【単語帳 No. 19】

I have known Aki since I was a child.

『私は子供のころからアキを(ずっと)知っています。』

Five years have passed since I saw him last.

= It has been five years since I saw him last.

= It is five years since I saw him last.

『私が最後に彼に会ってから 5 年になります。』

Since [Because] it was rainy, I couldn't go out.

『雨がふっていたので、私は外出できませんでした。』

We have lived in Tokyo since 1999.

『私たちは 1999 年から東京に住んでいます。』

I haven't seen Meg since then.

『私はそれ以来メグに会っていません。』

633

☒ without [ウィズアウト]

発音注意

アクセント注意

前

～なしで、～なしに (⇔ with)

without ~ing 『～しないで』

※ ~ing は動名詞(～すること)

We can't live without water. 『私たちは水がないと生きられない。』

Tom left Japan without saying goodbye [a word].

『トムはさよなら[ひと言]も言わずに日本を去りました。』

※ 前置詞 without の後ろには名詞か動名詞を使う。

634

☒ through [スルー]

発音注意

前

～を通して、～を通じて

～の間じゅう

同音語: threw (… throw「投げる」の過去形)

through the night 『一晩中』

all through the year 『一年中』

He walked through the park.

『彼はその公園を歩いて通り抜けました。』

This river runs through our city.

『この川は私たちの市を流れています』

We can see Mt. Fuji through the window.

『(私たちは)窓から[を通して]富士山が見えます。』

※ この We は一般の人々を指しているので、ふつう訳さない。

# 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



635

- ☑ **worry** [ワ～リィ] 発音注意 Don't **worry**. ①『心配しないで。』  
 ②『気にするな。』 (= Never mind.)  
 →【単語帳 No. 499… never】【No. 693… mind】
- ☑ (～を)心配する、悩む  
 ～を心配させる、悩ませる
- 活用 : worried [ワ～リィド]  
 – worried – worrying
- 3単現形 : worries [ワ～リィズ]
- worry** about ～『～を心配する』
- Don't **worry** about the test. 『そのテストについて心配するな。』
- There is nothing to **worry** about. ※ 不定詞の形容詞用法  
 『心配することは何もあります。』

636

- ☑ **miss** [ミス] ※ Miss (～さん、～嬢、～先生)と同音語 →【単語帳 No. 36】
- ☑ ～に乗りそこなう (⇔ catch)  
 ～をのがす、～がいなくてさびしい
- 活用 : missed [ミスト]  
 – missed – missing
- 3単現形 : misses [ミスィズ]
- ※ 3単現形の misses と Mrs. (～さん、～夫人)は同音語 →【単語帳 No. 35】
- I **missed** the last train. 『私は最終電車に乗り遅れました。』
- You can't **miss** it. 『見逃しませんよ。見つかりますよ。』  
 ※ 道案内をした人が最後に付け足すことが多い。
- I'll **miss** you. 『私はあなたがいなくなるとさびしくなります。』  
 ※ しばらく会えなくなる人に対して。

637

- ☑ **salt** [ソールト] 発音注意 Pass me the **salt**, please. 『私に塩を取ってください。』  
 ※ 食卓で人前に手を伸ばすのは、失礼な行為になる。
- ☑ 塩、食塩  
 【a をつけず、複数形にもしない】
- ☆ 取ってあげるときには Here you are. 「はい、どうぞ。」と言う。  
 →【単語帳 No. 194… here】

638

- ☑ **sugar** [シュガァ]
- ☑ 砂糖【a をつけず、複数形にもしない】
- a spoonful of **sugar** 『さじ[スプーン] 1 杯の砂糖』  
 two spoonfuls of **sugar** 『さじ[スプーン] 2 杯の砂糖』  
 ※ spoonful [スプーンフル] 名詞「スプーン 1 杯」
- I don't put [take] **sugar** in my tea.  
 『私は紅茶に砂糖を入れません。』
- ※ **sugar** は本来、数えられない名詞であるが、口語では、  
 a **sugar**, two **sugars** や **sugars** のようにも言う。
- How many **sugars** in your coffee?  
 『コーヒーに砂糖をいくつ入れますか?』

639

- ☑ **dish** [ディッシュ]
- ☑ 皿、1 皿の料理
- wash [do] the **dishes** 『皿を洗う』  
 Japanese **dishes** 『日本料理』  
 my favorite **dish** 『私の大好きな料理』
- We'll wash the **dishes**. 『私たちが(その)皿を洗います。』
- I like Japanese **dishes**. 『私は日本料理が好きです。』
- This is my favorite **dish**. 『これは私の大好きな料理です。』
- dish** … 調理された食べ物を指す。  
 food … 食べ物一般を指す。 →【単語帳 No. 332】

640

- ☑ **soup** [スープ] 発音注意 I ate [had/drank] **soup** for lunch.  
 『私は昼食にスープを飲みました。』
- ☑ スープ【a をつけず、複数形にもしない】
- eat [have] **soup** 『(スプーンなどを使って皿から)スープを飲む』  
 drink [have] **soup** 『(カップなどから直接)スープを飲む』  
 vegetable **soup** 『野菜スープ』 ※ スープは液体なので、形容詞の前にも a がつかない。 →【単語帳 No. 883】
- ※ have はどちらにも使うことができる。

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



641

☒ often [オ(ー)ふン] 発音注意

副 しばしば、よく、たびたび  
 ≪50%程度の確率・割合をあらわす≫

How **often** ~ ? = How many times ~ ?  
 『どのくらい(の頻度で)~, 何回~』

※ **often**, always などの語を『頻度(ひんど)を表す副詞』という。be 動詞・助動詞のある文では be 動詞・助動詞のうしろに、一般動詞のある文では一般動詞の前に使う。

Tom is **often** late for school.

『トムはよく学校に遅刻します。』

Emi **often** writes (a letter) to Ken.

『エミはよくケンに手紙を書きます。』

How **often** do you go to the library?

『あなたはどのくらい(の頻度で)その図書館に行きますか?』

※ この質問に対しては Once a week. 「週に1回」、  
 Twice a month. 「月に2回」のように答える。

☆ くわしくは、プリント教材の【頻度を表す副詞】参照。

642

☒ was [ワズ] ☆ am, is の過去形

動 ~だった、~にいた  
 助 ≪was + ~ing で≫ ~していた  
 ≪was + 過去分詞で≫ ~された

**was** not の短縮形 → **wasn't**

→ 【単語帳 No. 180 … be】も参照のこと

I **was** sick last week. 『私は先週病気でした。』Meg **wasn't** in her room. 『メグは彼女の部屋にいなかった。』That boy **was** running then.

『あの少年はそのとき走っていました。』

This book **was** written by Soseki.

『この本は漱石によって書かれました。』

※ 受け身(受動態)の文。written は write の過去分詞。

643

☒ were [ワ〜] ☆ are の過去形

動 ~だった、~にいた  
 助 ≪were + ~ing で≫ ~していた  
 ≪were + 過去分詞で≫ ~された

**were** not の短縮形 → **weren't**

※ スプリング(つづり)に注意!  
 … are の前に w が付くのではない。

→ 【単語帳 No. 180 … be】も参照のこと

We **weren't** busy yesterday.

『私たちは昨日忙しくありませんでした。』

There **were** a lot of stars in the sky.

『空にはたくさんの星がありました。』

The boys **were** swimming in that river.

『その少年たちはあの川で泳いでいました。』

Those desks **were** made by Tom.

『あれらの机はトムによって作られました。』

※ 受け身(受動態)の文。made は make の過去分詞。

644

☒ around [アラウンド]

アクセント注意

副 まわりに、めぐって、あちこち  
 前 ~のまわりに  
 約… (= about)

look **around** 『周りを見回す』  
 turn **around** 『振り返る』  
 show ~ **around**  
 『~をあちこち案内する』  
 → 【単語帳 No. 245 … show】  
 all **around** 『いたる所に』  
 travel **around** the world  
 『世界一周をする』

He looked **around** and found the shop.

『彼は周りを見回して、その店を見つけました。』

I'll show you **around**. 『私があなたを(あちこち)ご案内します。』The earth goes [moves/turns] **around** the sun.

『地球は太陽のまわりをまわっています。』

Is there a library **around** here?

『このあたりに図書館がありますか?』

We got here **around** [about] eleven (o'clock).

『私たちは11時ごろにここに着きました。』

※ get here 「ここに着く」… here は副詞なので直前に前置詞 to は不要。

☆ アメリカでは、時刻の前につく about 「およそ、約」のかわりに  
**around** が使われることもある。→ 【単語帳 No. 54 … about】



## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



- 645  
 ☑ within [ウィズィン] 発音注意 She will be [come] back **within** an hour.  
 『彼女は1時間以内に帰るでしょう。』  
 前 ~以内に[で]、~の範囲内に[で]  
 within an hour 『1時間以内に』  
 比較 in an hour  
 「1時間経てば、1時間すれば」  
 ※ 訳し方のちがいに注意！
- Stay **within** this house. 『この家の中にいなさい。』  
 I live **within** two miles of the station.  
 『私はその駅の[から]2マイル以内に住んでいます。』  
 ※ mile(s) [マイル(ズ)] … 距離の単位。1マイルは1,609メートル

- 646  
 ☑ along [アロ(ー)ング] There are a lot of [many] trees **along** the river.  
 『その川に沿ってたくさんの木があります。』  
 前 ~に沿って、~を通して  
 副 前へ、いっしょに  
 We walked **along** the street.  
 『私たちはその通りに沿って歩きました。』  
 ※ 「その通りを歩きました」と訳すことも多い。  
 ☆ 副詞の用法の例文は省略します。
- get **along**  
 『暮らしていく、うまくやっていく』  
 come **along** 『いっしょに来る』

- 647  
 ☑ borrow [バロウ] 発音注意 Can I **borrow** this pen?  
 『このペンを借りてもいいですか?』  
 動 ~を借りる (⇔ lend 「貸す」【No. 607】) I **borrowed** some money from Ben.  
 『私はベンから(いくらかの)お金を借りました。』  
 活用 : borrowed [バロウド]  
 – borrowed – borrowing  
 3単現形 : borrows [バロウス]  
 ※ **borrow** は他の場所へ持っていけるものを借りるときに使う。  
 電話(phone)やトイレ(bathroom)などを借りるときには、  
**borrow** ではなく use を使う。→ 【単語帳 No. 394 … use】  
 ☆ 【No. 705 … phone】、【No. 762 … bathroom】も参照のこと。

- 648  
 ☑ join [ジョイン] Will you **join** us? (= Why don't you **join** us? もほぼ同意)  
 『私たちに参加しませんか? / 私たちの仲間になりませんか?』  
 動 (〜に)加わる、参加する ※ Why don't you ~? → 【単語帳 No. 582 … why】  
 活用 : joined [ジョインド]  
 – joined – joining  
 3単現形 : joins [ジョインズ]  
 Ken **joined** the soccer club. 『ケンはそのサッカー部に加わりました。』  
 Two rivers **join** here. 『2つの川がここで合流します。』

- 649  
 ☑ still [スティル] Meg is **still** in bed. 『メグはまだ寝ています。』  
 He **still** loves you. 『彼はまだあなたを愛しています。』  
 副 まだ、なお、やはり  
 さらに【比較級を強めて】  
 ※ much にも比較級を強める  
 用法がある。→ 【単語帳 No. 39】  
 ☆ **still** には「静かな (= quiet)、動かない」の意味の 形容詞 もある。  
 a **still** night 『(風のない) 静かな夜』 / a **still** town 『静かな町』

- 650  
 ☑ quickly [クウィックリィ] She walked **quickly**. 『彼女は速足で歩きました。』  
 副 すばやく、急いで、速く (⇔ slowly 【No. 199】)  
 [比較変化] quickly - more ~ - most ~  
 Tom finished dinner **quickly**.  
 『トムは夕食をすばやく済ませました。』  
 ☆ fast 【単語帳 No. 198】も参照のこと。
- ※ fast の同意語ともされるが、**quickly** は fast よりも  
 動作がきびきびしていて、すばい様子をあらわす。

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



651 television (= TV) [テレビジョン(ティーヴィー)] ※ TV は television の略語。

名 テレビ、テレビ放送  
【実際の英文では 略語である TV を使うことが多い】

アクセント注意

watch **TV** (= **television**) 『テレビを見る』  
watch a soccer game on **TV** (= **television**)  
『テレビでサッカーの試合を見る』  
turn on [off] the **TV** (= **television**)  
『テレビをつける[消す]』  
a **TV** program / **TV** programs 『テレビ番組』

Emi usually watches **TV** after dinner.  
『エミはたいてい夕食後にテレビを見ます。』

I watched a soccer game on **TV**.  
『私はテレビでサッカーの試合を見ました。』  
※ 「テレビを見る」、「テレビで」という意味のときは  
冠詞の a や the をつけない。

Please turn off the **TV**. 『テレビを消してください。』  
※ 「～の音量を小さくする[弱くする]」は turn down ~  
→ 【単語帳 No. 587… turn】

☆ 「テレビゲーム」は a video game という。→ 【No. 706】

652 radio [レイディオウ] 発音注意 ※ o で終わる語だが、複数形は例外的に s だけをつけて **radios** になる。  
同じようなものに piano → pianos がある。… 【単語帳 No. 74】

名 ラジオ、ラジオ放送  
無線、無線通話

turn on [off] the **radio** 『ラジオをつける[消す]』  
listen to the **radio** 『ラジオを聞く』  
hear the news on the **radio**  
『ラジオで(その)ニュースを聞く』

Ken turned on the **radio**.  
『ケンではラジオをつけました。』

Meg is listening to the **radio**.  
『メグはラジオを聞いています。』

I heard the news on the **radio**.  
『私はラジオで(その)ニュースを聞きました。』

653 sound [サウンド] 発音注意

動 ～に聞こえる、音がする  
名 音

活用 : sounded [サウンディド]  
- sounded - sounding

3 単現形 : sounds [サウন্ズ]

make a **sound** 『音を立てる』  
a strange **sound** 『奇妙な音』

**sound** + 形容詞(～) 『～に聞こえる、～そうだ。』

That **sounds** good. 『それは良さそうね[すてきそうね]。』

**sound** like + 名詞(…) 『…に聞こえる、…そうだ。』

That **sounds** like fun. 『それはおもしろそうです。』

※ like 「～のような」は前置詞、fun 「楽しみ」は名詞

I heard a strange **sound**. 『私は奇妙な音を聞きました。』

Can you hear the **sound** of that bell ?

『あなたはあのベル[鐘/鈴]の音が聞こえますか?』

**sound** ～, **sound** like ～ … 耳で聞いたことに対して / look ～, look like ～ … 目で見たことに対して  
※ 後ろに形容詞がくるときには like を使わない。名詞の前に使うときには前置詞の like が必要になる。  
→ 【単語帳 No. 122… like】、【単語帳 No. 251… look】も参照のこと。

654 interesting [インタレストィング] アクセント注意

形 おもしろい、興味深い  
[比較変化] interesting  
- more ～ - most ～

an **interesting** story  
『おもしろい[興味深い]話』

She told us an **interesting** story.  
『彼女は私たちにおもしろい話をしてくれました。』

= She told an **interesting** story to us.  
※ 上の英文は第4文型、下の英文は第3文型の文。

This book is **interesting** to [for] me. 『この本は私にはおもしろい。』  
= I am interested in this book. 『私はこの本に興味があります。』

関連語 : interested (興味のある)  
→ 【単語帳 No. 726】

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



655

☑ climb [クライム] 発音注意

動 (～に) 登る

活用 : climbed [クライムド]

– climbed – climbing [クライミング]

※ climbing には「登山」の意味の 名詞 もある。

3単現形 : climbs [クライムズ]

関連語 : climber [クライマー] 「登山者」

Monkeys **climb** well. 『サルは木登りが上手です。』

→ 【単語帳 No. 900… monkey】

I **climbed** Mt. Fuji last week.

『私は先週富士山に登りました。』

※ Mt. [マウント] は Mount の略で、山の名前の前に使う。

→ 【単語帳 No. 514… mountain】

Have you ever **climbed** Mt. Everest [**E**ヴェレスト] ?

『あなたは今までにエベレスト山に登ったことがありますか？』

656

☑ belong [ビロ(ー)ング]

動 属する、所属する

活用 : belonged [ビロ(ー)ングド]

– belonged – belonging

3単現形 : belongs [ビロ(ー)ングズ]

**belong to** ~ 『～に属する、所属する』

Emi **belongs** to the music club.

『エミは音楽部に所属しています。』

= Emi is a member of the music club.

『エミは音楽部の一員です。』

This bike **belongs** to me. 『この自転車は私の物です。』

= This bike is mine.

※ **belong** を進行形(～ing)や命令文で使うことはほとんどない。

657

☑ already [オールれディ]

アクセント注意

副 すでに、もう【肯定文で】

※ 驚きや意外な気持ちを強く表現するときには疑問文で使うこともある。

It is **already** dark outside. 『外はもう[すでに]暗いです。』

The train has **already** left. ※ この left は leave の過去分詞。

『その列車はもう[すでに]出発しました。』

※ **already** は現在完了形の文では have と過去分詞のあいだに使う。

※ **already** と yet はどちらも「もう」と訳すが、**already** はふつう肯定文で、yet (「もう」の意味で) は疑問文で使う。

…「まだ」の意味の yet は否定文で使う。→ 【単語帳 No. 731… yet】

658

☑ suddenly [サドゥンリィ]

副 突然、急に、不意に

The train stopped **suddenly**. 『その列車は急停止した。』

**Suddenly** (,) it began [started] to rain [raining] hard.

『突然(,) はげしく雨が降り始めました。』

659

☑ push [プッシュ]

動 (～を) 押す (⇔ pull)

活用 : pushed [プッシュト]

– pushed – pushing

3単現形 : pushes [プッシュイズ]

**Push** the button [**B**トゥン]. 『そのボタンを押さない。』

I **pushed** Ken out of the room. 『私はケンを部屋から押し出した。』

※ out of ~ 「～から(外へ)」 → 【単語帳 No. 345… out】

Emi **pushed** the door open. 『そのドアを押して開けました。』

※ この open は 形容詞 → 【単語帳 No. 258… open】

660

☑ pull [プル]

**push** ⇔ **pull**

動 (～を) 引く、引っ張る (⇔ push)

活用 : pulled [プルド]

– pulled – pulling

3単現形 : pulls [プルズ]

Don't **pull** my hair. 『私の髪を引っ張らないで。』

**Pull** the door open. 『そのドアを引いて開けなさい。』

※ この open は 形容詞 → 【単語帳 No. 258… open】

☆ 英語圏では、牛乳パックなどの注ぎ口のところに **Pull** to open (開くために引く) の記述がある。

# [ 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 ]



661

☒ traffic [トゥラあふイク]

☐ 名 交通、交通量、(人・車)の行き来  
【a をつけず、複数形にもしない】

a **traffic** light 『交通信号』  
a **traffic** accident 『交通事故』  
a **traffic** jam 『交通渋滞』  
※ jam [ヂアム]「(果実の)ジャム、混雑」  
☆ 上記の a は、light, accident などの  
名詞についている冠詞。

Turn right at the second **traffic** light [signal].

『2番目の交通信号のところで右に曲がりなさい。』

※ light のかわりに signal [スィグナル]「信号(機)、合図」も可。

My uncle had a **traffic** accident last month.

『私のおじは先月 交通事故にあいました。』

**Traffic** is heavy around here. 『このあたりは交通量が多い。』

= There's heavy **traffic** around here.

→ 【単語帳 No. 738… heavy】【No. 644… around】

662

☒ purpose [パ〜パス]

発音注意

☐ 名 目的、目標、意図

for the **purpose** of ~ 『〜の目的で』  
on **purpose** 『わざと、故意に』

What's the **purpose** of your visit?

『あなたの訪問の目的は何ですか?』【空港の税関などで】

He went to France for the **purpose** of studying art.

『彼は美術を勉強する目的でフランスへ行きました。』

= He went to France to study art.

『彼は美術を勉強するためにフランスへ行きました。』

663

☒ forget [ふオゲット]

アクセント注意

☐ 動 (〜を)忘れる (⇔ remember)

活用 : forgot [ふオガット]

– forgot / forgotten [ふオガットウン]

– forgetting

3単現形 : forgets [ふオゲッツ]

~ing  
注意

I **forgot** his address [あドゥレス].

『私は彼の住所を忘れてしまいました。』

Don't **forget** to call me. 『忘れずに私に電話して。』… ①

I'll never **forget** seeing you.

『私はあなたに会えたことを決して忘れません。』… ②

I **forgot** my bag again. 『私はまたバッグを置き忘れました。』

※ 場所を特定して「〜に置き忘れる」というときは leave を使う。

I left my bag on the train. 『私は電車にバッグを置き忘れました。』

☆ **forget** のうしろに不定詞(to ~)があるか、動名詞(~ing)があるかによって意味が異なるので注意!

**forget to** ~ 『〜するのを忘れる』(例文①) / **forget** ~ing 『〜したことを忘れる』(例文②)

※ remember【単語帳 No. 664】や try【単語帳 No. 424】などにも同じような用法がある。

※ **forget** と **remember** は反意語なので、否定語(not, never など)を使って、ほぼ同意の文を作れることが多い。

Don't **forget** me. 『私のことを決して忘れないで。』 = **Remember** me. 『私のことを覚えていて。』

664

☒ remember [リンバァ]

アクセント注意

☐ 動 ~を思い出す、覚えている  
(⇔ forget)

活用 : remembered [リンバド]

– remembered – remembering

3単現形 : remembers [リンバズ]

I can't **remember** his name. 『私は彼の名前が思い出せません。』

Do you **remember** me? 『あなたは私のことを覚えていますか?』

**Remember** to call me. 『忘れずに私に電話して。』… ①

I **remember** seeing you before.

『私は以前あなたに会ったことを覚えています。』… ②

☆ **remember** のうしろに不定詞(to ~)があるか、動名詞(~ing)があるかによって意味が異なるので注意!

**remember to** ~ 『忘れずに〜する』(例文①) / **remember** ~ing 『〜したことを覚えている』(例文②)

※ forget【単語帳 No. 663】や try【単語帳 No. 424】などにも同じような用法がある。



## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



665

☒ gray [グレイ] 発音注意

 形 灰色の、ネズミ色の  
白髪混じりの

名 灰色、ネズミ色

 ※ イギリスでは  
grey と書く。

 Emi bought a **gray** coat.

『エミは灰色のコートを買いました。』

 His hair turned **gray**. 『彼の髪は白髪になりました。』

 I don't like **gray**. 『私は灰色が好きではありません。』

666

☒ silver [シルヴァ] 発音注意

形 銀の、銀色の

名 銀、銀色、銀貨

 Her car is **silver**. 『彼女の車は銀色です。』

☆ 名詞の用法の例文は省略します。

 a **silver** medal [メダル] 『銀メダル』 / a **silver** coin 『銀貨』 ※ coin [コイン]「硬貨、コイン」

667

☒ gold [ゴールド] 発音注意

形 金の、金色の

名 金、金色、金貨

 I found a **gold** coin last week. 『私は先週 金貨を見つけました。』

※ coin [コイン]「硬貨、コイン」

☆ 名詞の用法の例文は省略します。

 a **gold** medal [メダル] 『金メダル』 / a **gold** coin 『金貨』 / a **gold** ring 『金の指輪』  
 ※ 「金髪」は golden [ゴールドン] hair … golden も「金色の」の意味を持つ形容詞。(gold hair とは言わない!)

668

☒ spend [スPEND]

 動 (時間) を過ごす  
(お金) を使う、費やす

活用 : spent [SPENT]

- spent - spending

3単現形 : spends [SPENDS]

spend ~ on … 『～を…に使う』

 Ben **spent** two days in Japan. 『ベンは日本で2日過ごしました。』

 How did you **spend** your summer vacation?

『あなたは(あなたの)夏休みをどのように過ごしましたか?』

 Meg **spends** a lot of money on books.

『メグはたくさんのお金を本に使います。』

 He **spent** one thousand [1,000] yen on [for] a new dictionary.

『彼は新しい辞書に 1,000 円使いました。』

669

☒ tooth [トゥース] 発音注意

名 (1本の) 歯 【複数形は teeth [ティーズ]】

 a baby **tooth** 『乳歯』  
 brush one's **teeth** 『歯を磨く』

 My **tooth** came out. 『私は歯が(1本)抜けました。』

※ come out は「出てくる、現れる」の意味。

 Brush [ブラシュ] your **teeth** before you go to bed.

『(あなたは)寝る前に歯を磨きなさい。』

 ☆ **tooth** の複数形は特別な形になる。(同じようなものに、foot (足) → feet がある。【単語帳 No. 682】参照)

※ 「歯ブラシ」は toothbrush [トゥースブラシュ]、「ねり歯みがき」は toothpaste [トゥースペイスト] という。

670

 ☒ heart [ハート] Meg has a warm [kind] **heart**. 『メグは温かい[やさしい]心の持ち主です。』

→ 【単語帳 No. 509… warm】【No. 411… kind】

 名 心臓、心  
(トランプの)ハート札  
中心、真ん中

 We learned the English song by **heart**.

『私たちはその英語の歌を暗記しました。』

 learn ~ by **heart** 『～を暗記する』 / at **heart** 『心の底では』  
 the queen of **hearts** 『(トランプの)ハートのクイーン』 / the **heart** of our city 『私たちの市の中心』

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



- 671  
 ☒ **practice** [プらあクティス] Let's **practice** (speaking) English.  
 『英語を(話すのを)練習しましょう。』  
 動 (～を) 練習する  
 名 練習、実行  
 Meg **practices** the piano [guitar/violin] every day.  
 『メグは毎日ピアノ[ギター/ヴァイオリン]を練習します。』  
 活用 : practiced [プらあクティスト]  
 – practiced – practicing  
 Does skiing need much **practice**?  
 『スキー(が上達するに)はたくさんの練習が必要ですか?』  
 3単現形: practices [プらあクティスィス] 『スキー(が上達するに)はたくさんの練習が必要ですか?』  
**practice** judo [kendo/sumo] 『柔道[剣道/相撲]を練習する』  
 ※ 格闘技を練習するときには、ふつう **practice** を使う。  
 ※ **practice** の後ろには、名詞か動名詞(～ing)を使う。  
**Practice** makes perfect.  
 (→「練習が完全を作る。」)  
 → 『習うより慣れろ。』【ことわざ】

- 672  
 ☒ **win** [ウィン]  
 動 (～に) 勝つ、(賞など)を得る  
 (⇔ lose「負ける、失う」)  
 活用 : won [ワン]  
 – won – winning  
 ※ 過去形・過去分詞形は one(1)と同音語  
 3単現形: wins [ウィンス]  
 派生語: winner [ウィナア]「勝者」(⇔ loser「敗者」)  
 You **win**. 『あなたの勝ちです。』(⇔ You lose.)  
 Our team **won** the game.  
 『私たちのチームがその試合に勝ちました。』  
 Who **won**? → Tom did. 『だれが勝ったの?』『トムです。』  
 ※ did は一般動詞の代用(この文では **won**)として使われている。  
 Who plays tennis? → Ken does. などと同じ用法。  
 Emi **won** (the) first prize. 『エミは一等賞をとりました。』  
 ※ **win** (the) first prize「一等賞をとる」  
 → 【単語帳 No. 1046…prize】

- 673  
 ☒ **space** [スペース] 発音注意  
 名 宇宙、宇宙空間  
 空間 (⇔ time)、場所、余地  
 I want to walk in **space**. 『私は宇宙遊泳をしたい。』  
 There was not enough **space** to park my car there.  
 『そこには私の車を駐車するための十分な場所がありませんでした。』  
**space** travel 『宇宙旅行』 → 【単語帳 No. 763…travel】【No. 747…trip】も参照のこと。  
 a **space** rocket [らケット] 『宇宙ロケット』 ※ 「宇宙船」は a spaceship [スぺ이스シップ] という。  
 time and **space** 『時間と空間』 / a parking **space** [area] 『駐車場、駐輪場』 ※ area [エ(ア)リア]「地域、面積」

- 674  
 ☒ **earth** (Earth) [ア～す] 発音注意  
 名 <the をつけて> 地球  
 ※ **earth** には「地球」以外に、「地面 (= ground)、陸地 (= land)、土」などの意味がある。  
 The **earth** goes [moves/turns] around the sun.  
 『地球は太陽のまわりを回る。』  
 Let's save the **earth**. 『地球を救おう。』  
 ※ 地球は唯一のもので、固有名詞のように  
 The **Earth** と大文字で始めることもある。

- 675  
 ☒ **star** [スター]  
 名 星、星印、スター、人気者  
 a shooting [シューティング] **star** 『流れ星』  
 ※ shoot [シュート]「撃つ、射る」の～ing 形  
 = a falling **star**  
 a movie [film [ふィルム]] **star** 『映画スター』  
 We can't see any **stars** tonight. ※ not ~ any = no  
 『今夜は星が見えません。』  
 ※ we は一般の人々を指しているので、ふつう訳さない。  
**Stars** are shining. 『星が輝いています。』  
 ※ shine [シャイン]「輝く、光る」 → 【単語帳 No. 1041】  
 I want to be a movie **star** in the future.  
 『私は将来 映画スターになりたい。』

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



676

☑ sign [サイン] 発音注意

☑ 名 標識、記号、印、合図、前兆

a traffic **sign** 『交通標識』  
 a plus [プラス] **sign** 『プラス記号(+)]  
 a minus [マイナス] **sign** 『マイナス記号(-)]  
**sign** language 『手話』  
 a **sign** of rain 『雨の前兆』

Look at that traffic **sign**. 『あの交通標識を見て。』

Emi used **sign** language. 『エミは手話を使いました。』

The policeman gave [made] me a **sign** to stop.

『その警官は私に止まれの合図をしました。』

※ policeman [ポリスマン] → 【単語帳 No. 940】

☆ **sign** には「～に署名する、合図する」の意味の 動詞 もある。

I **signed** the letter. 『私はその手紙に署名しました。』

677

☑ message [メッセジ] 発音注意

☑ 名 伝言、メッセージ

take a **message** 『伝言を受け取る』  
 leave a **message** 『伝言を残す』

☆ 以下は『ご伝言はありますか?』『電話などで』に関連した表現。

May [Can/Shall] I take a **message** ?

※ 本来は「(私は)伝言を受け取りますか?」の意味。

= Will [Would] you leave a **message** ?

※ 本来は「(あなたは)伝言を残しますか?」の意味。

678

☑ let [レット]

☑ 動 (人に)～させる、～させておく

活用 : let [レット]

– let – letting

活用  
注意

~ing  
注意

3単現形 : lets [レッツ]

**Let** me see. (= **Let's** see. / Well, ...)  
 『ええと…』【言葉が出てこないとき】

☆ shall 【単語帳 No. 595】も参照のこと。

**Let** me think again. 『もう一度考えさせてください。』

**Let** me introduce myself. 『私に自己紹介をさせて。』

**Let's** ~. 「～しましょう。」 ※ **let's** は **let us** の短縮形  
 = Shall we ~ ? 「～しましょうか?」と書き換えが可能。

**Let's** go to the park. 『その公園へ行きましょう。』

= Shall we go to the park ? ※ ほぼ同意の文

→ Yes, **let's**. 『はい、そうしましょう。』

→ No, **let's** not. 『いいえ、よししましょう。』

679

☑ part [パート]

☑ 名 部分、一部 (⇔ whole 【No. 1031】)  
 (機械の) 部品  
 役目、役割

the last **part** of the movie  
 『その映画の最後の部分』  
 (a) **part** of ~ 『～の一部(分)』  
 ※ a はつけないほうがふつう。  
 take **part** in ~ 『～に参加する、加わる』  
 → 【単語帳 No. 648…join】

I enjoyed the last **part** of the movie.

『私はその映画の最後の部分を楽しみました。』

She cut the cake in [into] two **parts** [pieces].

『彼女はそのケーキを2つに切りました。』

※ 3単現の s がないので、この cut は過去形。→ 【単語帳 No. 712】

Japan is (a) **part** of Asia. 『日本はアジアの一部です。』

Who will play the **part** of the king ?

『だれがその王様の役を演じるのですか?』

※ この play は「演じる、芝居をする」の意味。→ 【単語帳 No. 239】

680

☑ side [サイド] 発音注意

☑ 名 側、側面  
 (体の) わき腹  
 味方

the left **side** of the road [street] 『道[通り]の左側』 ※ road と street のちがい → 【単語帳 No. 436…road】  
 on the other **side** of this river 『この川の対岸[向こう側]に』 / **side** by **side** 『横に並んで』

Cars run on the left **side** of the road in Japan.

『日本では車は左側通行です。』

I have a pain in my left **side**. 『私は左のわき腹が痛い。』

I'm on your **side**. 『私はあなたの味方です。』

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



681

 ☒ seat [スイート] 発音注意

名 座席、席、座るところ

動 席に着かせる

 活用 : seated **【スイーティド】**

– seated – seating

3単現形 : seats [スイーツ]

have [take] a **seat** 『座る』  
 a **front** [back] **seat** 『前部[後部]座席』  
 a window **seat** 『窓側の席』  
 be **seated** 『座る』

 Have [Take] a **seat**, please. 『どうぞお座りください。』

 Go back to your **seat**. 『あなたの席に戻りなさい。』

 Tom gave his **seat** to the old man.

『トムはその老人に彼の席をゆずりました。』

 Please be **seated**. 『どうぞお座りください。』

※ Please sit down. よりも ていねいな表現。

※ 「座る」の意味になる表現

 → sit down, have [take] a **seat**, be **seated**

…【単語帳 No. 153 … sit】も参照のこと。

682

 ☒ foot [ふット] 【複数形は **feet** [ふィート]】

 名 (1本の) 足【足首から下[先]の部分指す】(⇔ hand)  
 ふもと

フィート【長さの単位、1フィートは約 30.48cm】

 on **foot** 『歩いて、徒歩で』

※ 「～へ歩いていく」は walk to ～ を使うのがふつう。

 at the **foot** of the hill 『その丘のふもとに』

 What size is your **foot**?

『あなたの足のサイズはいくつですか?』

※ size [サイズ]「サイズ、寸法、大きさ、規模」

 Tom goes to school on **foot**.

= Tom walks to school. ※ 下のほうがふつう。

『トムは歩いて学校へ行きます。』

 Look at the **foot** of that mountain.

『あの山のふもとを見て。』

 Meg is about five **feet** tall.

『メグ(の身長)は約5フィートです。』

 ☆ **foot** の複数形は、s をつけずに、特別な形になる。

似たものに、tooth (歯) → teeth がある。…【No. 669】

683

☒ cry [クライ]

 動 泣く、(～と)叫ぶ  
 (= shout 【No. 750】)

名 叫び声、泣き声

活用 : cried [クライド]

– cried – crying

3単現形 : cries [クライズ]

 a girl's **cry** 『少女の叫び声』

 Don't **cry**. 『泣かないで。』

 “Look!” **cried** the boy. 『「見て！」とその少年は叫びました。』

※ 主語と動詞に倒置がおこっている。

**cry** for ~ 『～を泣いて求める、～を大声で求める』

 The baby is **crying** for milk.

『その赤ん坊はミルクを泣いて欲しがっています。』

**cry** out 『大声を出す』

 Tom **cried** out when he saw his old friend.

『トムは彼の旧友を見たとき大声を出しました。』

 ☆ **名詞** の用法の例文は省略します。

684

 ☒ repeat [りピート] アクセント注意

動 ～を繰り返す、繰り返して言う

活用 : repeated [りピーティド]

– repeated – repeating

3単現形 : repeats [りピーツ]

**Repeat** after me. 『私のあとに繰り返して言いなさい。』  
 → 【単語帳 No. 47 … after】

 Don't **repeat** the same mistake.

『同じ間違いを繰り返すな。』

→ 【単語帳 No. 713 … same】【No. 704 … mistake】

 History **repeats** itself. 『歴史は繰り返す。』【ことわざ】

→ 【単語帳 No. 785 … itself】



## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



685

☑ pink [ピンク]

My favorite color is **pink**. 『私の大好きな色はピンク色です。』

名 ピンク(色)、桃色  
形 ピンク色の、桃色の

Meg's bag is **pink**. 『メグのバッグはピンク色です。』

☆「流行性結膜炎、はやり目」のことを pinkeye (単語1語) という。

686

☑ brown [ブラウン]

発音注意

I like dark **brown**. 『私はこげ茶色が好きです。』

名 茶色、褐色(かっしょく)  
形 茶色の、褐色(かっしょく)の

※ dark **brown** 「こげ茶色」、light **brown** 「うす茶色」  
→ 【単語帳 No. 449 … dark】、【No. 463 … light】

※ Brown はアメリカやイギリスで多い姓(名字)の1つである。

Tom has **brown** eyes. 『トムは茶色の目をしてしています。』

→ 【単語帳 No. 385 … eye】

687

☑ hold [ホールド]

発音注意

**Hold** the pen in your hand. 『そのペンを手に持ちなさい。』

動 ～を手に持つ、つかむ、抱く  
(会・パーティーなど)を開く

She is **holding** her baby in her arms. ※ arms 「両腕」  
『彼女は(両)腕に彼女の赤ちゃんを抱いています。』

活用 : held [ヘルド]

– held – holding

Tom **held** Meg's hand. 『トムはメグの手を握りました。』

3単現形 : holds [ホウルツ]

**Hold** on, please. 『(電話をきらずにそのまま)お待ちください。』  
(⇔ hang up 「電話をきる」 → 【No. 969 … hang】)

**hold** on 『電話をきらないで待つ』  
**hold** a meeting [party/concert]  
『会合[パーティ/コンサート]を開く』

The concert will be **held** this Sunday.

『そのコンサートは今日の日曜日に開かれます。』  
※ <be 動詞 + 過去分詞> なので、受け身(受動態)の文。

688

☑ absent [あぶセント]

アクセント注意

Meg was **absent** from school today.

形 休んで、欠席して (⇔ present)

『メグは今日学校を休みました。』

be **absent** from ~ 『～を欠席している』 (⇔ be present at ~ 「～に出席している」 → 【No. 754 … present】)

689

☑ clever [クレヴァ]

Ken is a **clever** boy. 『ケン is 頭の良い少年です。』

形 頭の良い、利口な (⇔ stupid … 下記参照)  
器用な、じょうずな

Who is the **cleverest**? 『だれがいちばん利口ですか?』

[比較変化] clever · cleverer · cleverest

※ 「頭がよい」の意味では、よく smart [スマート] が使われる。英単語の smart に「やせている」の意味はなく、その意味では slim [スリム] を使う。

**clever** … 頭の働き、手先、体などが器用。

bright … 子供の物覚えが良く、頭が良い。→ 【No. 1008】

※ **clever** と bright はほぼ同意で使われる。

wise … 理解力・良識・判断力を持っている。→ 【No. 1009】

☆ **clever** の反意語 stupid [ス~~テ~~ューピッド] 「ばかな、おろかな」の同意語に、silly [ス~~イ~~リィ] 「おろかな、ばかげた」、foolish [フ~~ー~~リッシュ] 「ばかな、おろかな」などがある。※ April fool → 【No. 382 … April】 も参照のこと。

690

☑ polite [ポ~~ラ~~イト]

アクセント注意

Be **polite** to others. 『他人に礼儀正しくしなさい。』

形 丁寧(ていねい)な、礼儀正しい  
(⇔ rude [るード] 「失礼な、無作法な」)

= Don't be rude to others. 『他人に失礼をするな。』  
→ 【単語帳 No. 594 … other】

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



- 691  
 ☒ **build** [ビルド] 発音注意  
 動 (～)を建てる 発音注意  
 活用 : built [ビルト]  
       – built – building  
 3単現形 : builds [ビルツ]  
 We'll **build** a house next year. 『私たちは来年家を建てる予定です。』  
 They **built** a bridge across [over] the river. 『彼らはその川に橋をかけました。』  
 ※ **build** は建物・橋・船・巣などを作るときに使う。  
 比較的小さい物(例. 犬小屋など)を作るときには **make** を使う。  
 →【単語帳 No. 172… make】
- 692  
 ☒ **decide** [ディ**サイ**ド] 発音注意  
 動 (～を)決める、決心する アクセント注意  
 活用 : decided [ディ**サイ**ディド]  
       – decided – deciding  
 3単現形 : decides [ディ**サイ**ツ]  
 関連語 : decision [ディ**スイ**ジョン]「決心、決定」→【No. 1119】  
 I can't **decide**. 『私には決められません。』  
**Decide** what to do next. 『次に何をするか決めなさい。』  
**decide** to ~ 『～しようと決心する』 ※ 動名詞(～ing)は不可。  
 He **decided** to be [become] a doctor. 『彼は医者になることを決めました。』  
 ※ ダントツ英文法【不定詞①…名詞用法】
- 693  
 ☒ **mind** [マインド]  
 名 精神、心 (⇔ body)  
       考え、記憶  
 動 ～を気にする  
 活用 : minded [**マ**インディド]  
       – minded – minding  
 3単現形 : minds [マインツ]  
 Ken changed his **mind**. 『ケンは(彼の)考えを変えました。』  
 I made up my **mind** to go there. 『私はそこへ行くことを決心した。』  
 Never **mind**. 『気にするな。』  
 ※ 日本語では「ドンマイ」というが、英語では Don't ではないことに注意！  
 Do [Would] you **mind** my smoking [if I smoke]?  
 (→『あなたは私がタバコを吸うのをいやがりますか?』)  
 →『タバコを吸ってもいいですか?』と訳す。  
 ※ **mind** の意味は「～を気にする」なので、『吸ってもいいです。』と  
 肯定の返答をするときには、No, I don't. / No, not at all. /  
 Of course not. など、否定の意味を持つ表現を使う。  
 ※ Would you ~ ? は Do you ~ ? よりも ていねいな表現になる。
- make up *one's* **mind** 『決心する』  
 = decide →【単語帳 No. 692】  
**Mind** your own business.  
 『余計なお世話です。口を出すな。』
- 694  
 ☒ **while** [(ホ)ワイル] 発音注意  
 接 ～する間に、～なのに一方では  
 名 (しばらくの間、(少しの)時間  
 for a **while** 『しばらくの間』  
 after a **while** 『しばらくして』  
 While I was in Canada, I saw my old friend.  
 『私はカナダにいる間に、私の旧友に会いました。』  
 = During my stay in Canada, I saw my old friend.  
 ※ 前置詞 during の後ろには名詞か動名詞を使う。→【No. 214】  
 Some people love dogs, **while** others hate them.  
 『犬を愛する人もいれば、一方きらい人もいる。』  
 ☆ 名詞 の用法の例文は省略します。
- 695  
 ☒ **though** [ぞう] 発音注意  
 (= **although**) [オール**ぞう**]  
 接 ～だけれども  
 ※ **although** は **though** よりも硬い表現。  
 even **though** ~ = even if ~  
 『たとえ～だとしても』→【No. 745… even】  
 Though **Although** it was cold, we went fishing.  
 = We went fishing **though** **although** it was cold.  
 『寒かったけれども、私たちは釣りに行きました。』  
 Though (he is) poor, he has a lot of friends.  
 『彼は貧しいけれども、たくさんの友達がいます。』  
 ※ 前後の文の主語が同じときは、**though** の文節中の  
 ≪主語 + be 動詞≫ を省略することができる。

## 〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕



696

☑ such [サッチ] 発音注意

☐ そのような、そんな、そんなに

such a thing / such things  
『そのようなこと』such a kind woman  
『とても親切な女性』such ~ as ... 『…のような〜』  
such a tall man as Ken  
『ケンのように背が高い男性』

such ~ that ... 『とても〜なので…』

Don't ask **such** a question. 『そのような質問をするな。』I have never seen **such** a beautiful flower.  
『私はそのように美しい花を見たことがありません。』Emi is **such** a kind girl that everyone likes her.  
『エミはとても親切な女の子なので、みんなが彼女を好きです。』☐ 比較 so ~ that ... 「とても〜なので…」の〜の部分には形容詞を使う。  
→ 【単語帳 No. 9 ... that】such as ~ 『(例えば)〜のような』He likes sports, **such** as soccer and tennis.  
『彼は、例えばサッカーやテニスのようなスポーツが好きです。』

697

☑ die [ダイ]

☐ 死ぬ、(植物が)枯れる (⇔ live)

活用 : died [ダイド]  
- died - dying ~ing  
注意

3単現形 : dies [ダイズ]

関連語 : dead (死んでいる)、death (死)  
→ 【単語帳 No. 456 ... dead】She **died** ten years ago.  
『彼女は10年前に亡くなりました。』The dog is **dying**. 『その犬は死にかかっています。』My aunt **died** of cancer **【キアンサア】**.  
『私のおばはガンで亡くなりました。』die (of) ... 病気・飢餓(きが)・老衰などで死ぬ。  
be **killed** ... 事故・災害・戦争などで殺される(死ぬ)。

698

☑ kill [キル]

☐ ~を殺す、(植物)を枯らす  
(時間)をつぶす活用 : killed [キルド]  
- killed - killing

3単現形 : kills [キルズ]

We should not **kill** animals. 『私たちは動物を殺すべきではない。』He was **killed** in a traffic accident [the war].  
『彼は交通事故[その戦争]で亡くなりました。』kill oneself 『自殺する』 / kill time 『時間をつぶす』

699

☑ matter [マァタァ]

☐ 困ったこと、事がら、問題  
☐ 重要である、問題となる活用 : mattered [マァタアド]  
- mattered - mattering

3単現形 : matters [マァタアズ]

What's the **matter** (with you)? 『どうしたの?』  
= What's wrong (with you)?

※ 相手の具合や体調などを心配するときに使われる。→ 【No. 51 ... what】

It doesn't **matter** to me. 『それは私には問題ではありません。』  
= It is no **matter** to me. = It **matters** nothing to me.as a **matter** of fact 『実は、実を言うと』 → 【単語帳 No. 1045 ... fact】

700

☑ pardon [パードゥン]

☐ 許すこと、許し  
☐ (人・罪・過ちなど)を許す**Pardon?**『もう一度言ってください。/  
なんとおっしゃいましたか?』I beg your **pardon**? 『もう一度言ってください。』※ **Pardon**? よりもていねいな表現。どちらの表現も文末を上げ調子で読む。※ I beg your **pardon**. ... 肯定文の形で、文末を下げ調子で読んだ場合は、  
『ごめんなさい。失礼しました。』の意味になる。**Pardon** me? 『もう一度言ってください。』  
... 文末を上げ調子で読む。(= I beg your **pardon**?)※ **Pardon** me. (肯定文)は『ごめんなさい。失礼しました。』の意味になる。